



# UP DATE



## ■ 第8回理事会

3月21日（木）、第8回理事会を開催しました。この理事会では、①平成24年度の事業報告と収支決算見通し、②平成25年度の事業計画と収支予算見通し、③平成25年度総会終結をもって任期満了となる役員（理事・監事）の改選、及び④平成25年度の当協会顧問の委嘱などを審議しました。

審議の結果、平成24年度収支決算（額）は年度終了後の最終値に対して監事の監査を受けて確定すること、平成25年度の収支予算（額）は平成25年度の決算（額）に基づいて必要な修正をすること、また役員の改選および顧問の委嘱は事前に候補者の承諾を得ることなどを前提に承認されました。なお、これらの案件は次回（第9回）理事会にて最終審議することとなりました。

## ■ 新会長の選出

第5回通常総会（6月18日（火）開催）にて選任されました理事の中から新たな代表理事・会長が選出されました。

新会長・代表理事 安中徳二氏

なお、新会長の就任ご挨拶は、機関誌「No-Dig Today 85号」に掲載の予定です。

## ■ 委員会活動

### (1) 第76回技術委員会

4月26日（金）、第76回技術委員会を開催しました。委員会では、7月12日（金）に予定しております第20回非開削技術講演会の講演テーマが審議されました。

今回のテーマ選定では、社会基盤設備充足の時代を迎えた現代において、専門的な非開削技術の発展とともに重要と思われる「設備のマネジメント」に視点を置くこととしました。

この結果、第20回非開削技術講演会のテーマとして、①ISO等国際規格への対応と将来展望、②社会基盤設備強靱化への取り組み、③設備のアセットマネジメントの3課題を選定しました。

### (2) 機関誌 (No-Dig Today) 編集委員会、

#### 編集企画小委員会

#### 【編集委員会】

第85回編集委員会を4月12日（金）に開催しました。

委員会では、機関誌No-Dig Today 第83号（平成25年4月1日発行、特集：ライフライン用途以外で活躍する非開削技術）の全体構成や特集記事、連載記事等の内容について、審議致しました。

#### 【編集企画小委員会】

第99回、第100回の編集企画小委員会をそれぞれ4月12日（金）、6月7日（金）に開催しました。これらの委員会では、機関誌第84号（本号、特集：極小口径管路の非開削建設技術）の特集掲載工法の選定、全体構成と表紙図案、受領記事の内容などを審議、決定しました。

なお、過去の機関誌は第51号（平成17年4月号）以降は全記事、JSTTホームページから閲覧、ダウンロードできます。

### (3) 工法ナビゲーションシステム運営委員会

第44回委員会を4月17日（水）に開催しました。委員会では、特定の推進工法が有する特殊機能（障害物探査・回避機能、推進機マンホール回収機能等）の検索システム上の取り扱いや未登録工法への営業勧誘活動などを審議、決定しました。

### (4) ソーシャルコスト検討委員会

第17回委員会を3月15日（金）に開催しました。委員会では、これまで検討を続けてきました「ソーシャルコスト検討マニュアル（案）（仮称）」の正式名称を「ソーシャルコスト算定マニュアル～路上工事における社会的費用～（案）」とすること、また（案）の文言（表現）の統一や内容の最終精査を行った上で製本化を目指すこと等を審議、決定しました。

また5月1日（水）には機関誌「No-Dig Today」のソーシャルコスト解説連載の締めくくりとして、当協会楠田技術委員長を進行役とする5名の委員代表による座談会を行いました。座談会記事は、機関誌「No-Dig Today」第84号（本号）、第85号（10月1日発行）に掲載します。

### (5) HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会

第54回委員会を5月21日（火）に開催しました。委員会では、新施工事例集（平成25年度版）に掲載する現場施工事例（約45件）、及び新たに制作するHDD工法のパンフレットの図案を審議し、決定しました。